

**研究課題名：**

臨床検体における JC ポリオーマウイルス wraparound transcript の探索

**研究の目的と方法：**

本研究の目的は、国立感染症研究所の感染病理部に病原体検査を依頼された進行性多巣性白質脳症（PML）症例を対象として、ウイルスの検出と併せて JC ポリオーマウイルスが発現する wraparound transcript など転写産物の検出を実施することで、どのようなウイルス遺伝子が病変部において発現し、PML の病態形成に関与しているかを解明する手がかりを得ることです。これらの知見に基づき、PML の病態解明に寄与することを通じて、最適な治療法への手がかりを示すことをさらなる目的としています。

**研究の対象者及び対象期間：**

選択基準：下記の①もしくは②を満たす方

- ① 病原体検索の目的で国立感染症研究所 感染病理部へ情報と試料が提供され、感染病理部において残余試料が保管されている PML の方。
- ② 本研究の実施期間中に病原体検索の目的で国立感染症研究所 感染病理部へ情報と試料が提供された PML の方で、感染病理部における必要な検索が完了し、報告書が発行されたのちに、残余試料が発生した方。

対象期間はこれまでに依頼を受けたすべての時期から 2028 年 3 月 31 日までです。

**研究に利用する試料・情報：**

国立感染症研究所 感染病理部に、感染病理学的検査業務ために送付された検体の余剰検体と匿名化された症例情報（年齢・性別、免疫抑制を来す併存疾患）

**研究期間：**

令和 6 年（2024 年）研究計画承認日 ～ 令和 10 年（2028 年）3 月 31 日

**研究組織：**

国立感染症研究所 研究代表者：感染病理部 主任研究官 飯田 俊

**試料・情報の管理について責任を有する者：**

国立感染症研究所 感染病理部 部長 鈴木忠樹

**お問い合わせ先：**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

試料・情報が本研究に用いられることについて、患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、対象となる患者さんが入院した医療機関の担当医を通じてお申出ください。

なお、成果の発表後は、研究対象からの除外に応じることができません。

**連絡先**

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1 TEL 03-5285-1111

国立感染症研究所 感染病理部 主任研究官 飯田 俊（研究代表者）